

「Gene-Checker^{ジーン・チェッカー}検査キット」ご使用方法

「Gene-Checker 検査キットは、医療機関と同じ内容の検査をご自宅にしながら気軽に受けることのできる検査キットです。食後またはうがい後の場合、30分時間を置いてから検査を行ってください。利用者は説明書に従って、各自で自宅にて検査試料を自己採取後、防漏性容器に収めます。容器をジップ袋に入れて密封後、封筒に入れ封をし、郵便ポストに投函してください。回収後、検査通知までにかかる日数は検査所到着から30日となります。

検査の流れの動画はこちらよりご覧ください

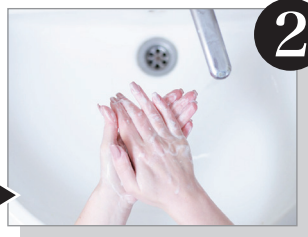


検査の流れ

検査は3本行ってください。(1本は予備分となります)



同梱物チェックシートを見ながら同梱物に不備がないか確認してください。
※採取した検査試料は24時間以内に送れるように準備をしてください



手を洗い、清潔な環境で検査を行います。食後またはうがい後30分時間を置いてから検査をしてください。



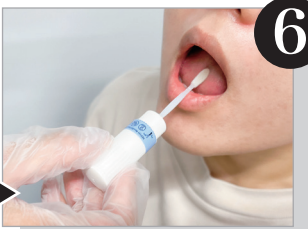
プラスチック容器とジップ袋には、バーコードが貼ってあります。



ビニール手袋をします。キャップを簡単に開けるため、プラスチック容器を片手で押さえ、白いキャップをもう片手で持ち、ひねるような感じで開けてください。※ビニール手袋は各自でご用意をお願いいたします。



続いて、白いキャップからスワブを取り出してください。シャフトは、折れやすいので十分に注意してください。
※プラスチック容器は一時的に清潔なところに置いてください。



まず、シャフト部分を口の中に入れて舌の上に置きます。唾液で10秒ほど湿らせてください。



スワブを口腔内の片側に移動し上顎・下顎の頬粘膜に10回ずつ強くこすり付けてください。
※実施するときは、もう一方の手で摩擦を増加させるために外側から軽く頬を押して圧をかけることも有効です。頬の細胞をしっかりと採取できるよう、頬と歯茎の間が目安です。



反対側の頬に移動し同様、上顎・下顎の頬粘膜に10回ずつ強くこすり付けてください。



右左、上下で計4箇所こすり付け、採取できたスワブはプラスチック容器に戻します。



蓋をしっかり閉め込んでください。カチッと音がします。採取はこれで以上です。



プラスチック容器はジップ袋に入れてください。



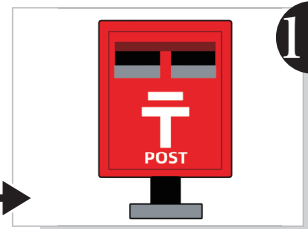
⑪でジップ袋に入れたプラスチック容器を「バイオハザードバッグ」に入れてください。



⑫を茶色の箱の中に入れてください。一緒に必要事項を記入した同意書を同封し、梱包します。
※クリニックで提出している場合は不要です



同梱しているレターパックに入れてしっかり封をしてください。



レターパックをお近くのポストへ投函してください。お客様の送料のご負担はありません。

検体採取にあたっての注意事項

- ・パッケージ開封後はすみやかに検体を採取してください。
- ・スワブを必要以上に強く押しあてたり、曲げたりしないでください。シャフト部分が予想外に破損することがあります。
- ・検体を採取される方は、口腔スワブ採取前30分以内の喫煙、飲食（水は除く）、歯磨き、ガムを噛むことを控えてください。30分経過していることを確認してから採取してください。
- ・頬粘膜は強めにしっかりと採取してください。検査に必要な量のDNAが採取できない場合は再採取をお願いする可能性があります。

HUMEDIT

〒174-0063 東京都板橋区前野町 1-16-4 1F

gene-checker@humedit.co.jp

0120-915-967